



## 多忙化解消と

# 教育条件の整備を

## 各市町教委と校長会への要請

多忙化解消と労安体制の確立、そして教育条件の整備の必要性が強まる中、尾北教労は、7月に各市町教委と管内校長会への前期要請を行いました。そこで示された各市町の状況や取り組みについての要旨を紹介いたします。そして、今後望まれる方向性について、ともに考えたいと思います。

## 部活動の改善 朝練習をなくす

多忙化解消プランの大きな取り組みの一つに部活動の見直しがあります。実際、中学校の先生たちの時間外労働の多くが部活動であり、その見直しは以前から言われてきたことです。教員の過酷な勤務状況が社会的にも指摘されていること、根本的な見直しが強く求められていると言えます。尾北では、2015年度の丹葉地区小中学校校長会で5つの改善目標が定められ、土日はどちらかの日を休みにするなど、見直しの取り組みが進められています。

愛知県の各市町でも部活動の見直しが進められており、大きな見直しの一つと

して「朝練習を中止にした」市町がいくつもあります。朝練習をなくした中学校の先生からは「生徒も教師も生活が激変した。朝からゆとりをもって生活でき、笑顔が増えた。こんなに効果があるとは思わなかった」といった声も聞かれます。

尾北教労では、「生徒の健康と生活リズムを大切にする観点から、朝練習を中止すること」を各市町教委と校長会に要請しています。すでに、大山市教委は今年1月に、「大山市部活動ガイドライン」を策定し、その中には「平成30年9月をめぐり、段階的に早朝練習をとりやめます。もしくは、それに代わる措置を講じていきます。」と記されています。そして、保護者の理解を得るために、部活動の見直しをする理由とガイドラインの内容が示されたプリントを配付しています。他の市町では、朝練習の見直しについては検討中となっていますが

## 教師用指導書

# 学級数分の配付を

思い切った対応が望まれます。

小学校の教師用指導書の公費による配付は、各市町で対応が違っています。

○指導書のセットを全学級に配付  
(岩倉市)

○指導書のセットを学年に1部、朱書きの冊子は全学級に配付  
(江南市)

○指導書のセットを各学年2学級ごとに1部配付(3学級でも1部)  
(犬山市・大口町・扶桑町)

授業時数が増え、会議や打ち合わせの時間も十分とれない現状では、授業の準備をするための時間はほとんどとれません。短時間で授業の準備をしなければならず、「せめて朱書きの指導書は、学級数分配付してほしい」といった切実な声も聞かれます。

さらに、若手の先生や講師の先生が増えている現状を考えると、学級数分の指導書は、なおさら必要だと言えます。先生たちの中には、やむなく自費で指導書を購入する方もみえ、業務上必要な専門資料である以上、公費で支給されること強く求められています。

## エアコン設置

# 計画進む

異常な暑さによる熱中症が深刻な事態

を引き起こしています。各市町ではエアコンの設置計画が早急に進められています。すでに全教室に設置されている大口町以外のほとんどの市町では、今後2年間をめどに全ての学校にエアコンを設置する計画が進められています。一方で、「小学校は設置するが中学校は未定」「普通教室と特別支援教室に設置する」「特別教室は音楽室のみ設置する」など、市町によっては暫定的な対応も見られます。しかし、子どもが授業で使用する以上、全ての教室へのエアコン設置はやはり必要です。全教室への設置に向けた計画が進められることが求められます。

## 養護教諭の不在時 赤十字に派遣依頼

修学旅行や野外活動、または遠足など、養護教諭が不在の日があります。そうした日でも、他の学年は学校で通常の活動をしており、子どもたちが、けがや体調不良などで保健室に来ることは当然あります。

尾北においては、そうした日は、事前に赤十字に依頼して学校に来てもらう体制をとっている学校もあります。いくつかの市町では、教育委員会が、4月当初に各学校の年間行事計画に合わせた依頼を受け、まとめて赤十字に依頼し、全ての学校で赤十字の方に来てもらうようになっています。

そうした対応がとられておらず、養護が複数配置でない学校では、保健室を施

錠し、あとは担任や他の先生で対応する  
しかなく、養護教諭も学校のことを心配  
しながら修学旅行などに同行しているの  
が実状です。尾北の全ての市町で、養護  
教諭が不在時の赤十字等への派遣依頼体  
制がとられることが求められます。

## 割振変更簿 管内全校設置へ

県教委の多忙化解消プランでは、「小・  
中学校の校長が割振変更簿の整備と運用  
を行う」ことが示されていますが、それ  
に合わせ、今年度から尾北の管内全校に  
設置する方向が管内校長会と各市町教育  
委員会から示されました。

すでに、割振変更簿を個人別の年休フ  
ァイル等に綴じて設置している学校では、  
「平日でも用事があって早目に学校を出  
たいとき、割振変更簿に記入して届け出  
ればいいので、割り振りがとりやすくな  
った」といった声が聞かれます。

一方で、割振変更簿が設置してあるの  
に、全職員に使い方などの説明がされて  
いない学校もあり、「そんなの見たことな  
いし、説明されたこともない…」といっ  
たつぶやきも聞かれます。

さらに、運用にあたっては、校長から  
「どの業務の割り振り」を「どれだけの  
時間をとるのか」がきちんと指示されな  
いと、職員は、割振変更簿に記入できま  
せん。また、学校によっては、割振変更  
簿の使い方の例が示されたプリントを一  
緒に綴じてあるところもあります。

せっかく設置した割振変更簿がきちんと  
運用されるよう各学校での対応が求められ  
ています。

## タイムカード ICカード導入進む

長時間勤務の解消のためには、まずは、  
勤務時間の正確な実態把握が必要です。し  
かし、これまでのエクセル表を使った自己  
記入では、記録作業が面倒なのと、時間外  
勤務の多さを隠すための虚偽報告の問題が  
指摘され、タイムカードやICカードの導  
入の必要性が増してきました。

尾北では、今年度から岩倉市（ICカー  
ド）と江南市（タイムカード）において全  
校で導入され、犬山市では自分のパソコン  
の起動時と終了時の時刻を出退勤時刻とし  
て、在校時間記録表に自動的に記載される  
仕組みを導入しています。記録作業の簡素  
化に向け、他の市町でも導入が望まれます。  
同時に、正確な記録以上に重要なことは、

時間外勤務そのものを減らすことです。各  
学校での各種行事や取り組みを見直し、削  
減・簡素化・統合などの改善をぜひ進めた  
いものです。

## 英語の教科化 講師加配が進む

小学校では2020年度の英語教科化の  
本格実施に向け、今年度から授業時数が増  
え始めています。しかし、英語は、本来は、

小学校の教員免許では教えられない科目  
であり、それを教科として担任が教える  
ことには、かなり無理があります。担任  
任せにしないよう、英語の加配教員がや  
りが必要です。

国が正規の英語教員を小学校に加配す  
る措置をとったものの人数枠が少なく、  
ほとんどの学校には配置されていません。

あとは、各市町で講師（ALTやNE  
T）を加配することになりますが、今年  
度、江南市と岩倉市で英語講師が1名増  
員されました。岩倉市では、本格実施に  
向け、さらに1名加配して合計5名とし、  
小学校5校に配置する計画です。他の市  
町でも英語講師の増員が望まれます。同  
時に、英語を教科化する以上、国や県が、  
正規の英語専科教員を全ての小学校に配  
置するよう要求していくことが必要です。

## 通知表の所見 簡素化が進む

多忙化解消の取り組みとして、通知表  
の所見の簡素化が進められています。1  
学期や2学期、もしくは前期は、保護者  
との懇談会があり、そこで学校での様子  
は伝えられるので、所見の記入を省くこ  
とができます。それゆえ、所見欄には、  
委員会・クラブ・係名などの記録のみに  
する市町もあります。文章表現は3学期  
や後期のみとなります。

一方で、簡素化が進められたとはいっ  
ても、総合・英語・道徳の所見は毎学期  
記入しなければならぬ市町もあり、「こ

れでは、あまり負担軽減にならないなあ  
といったつぶやきも聞かれます。今後、  
さらなる見直しが求められています。

## 作品募集・作品展 負担軽減が進む

夏休みの作品募集の負担軽減に向け、  
市町によっては、

「学校は集めるだけで、審査せず、集め  
た作品をそのまま市に届けてくれれば  
いい」  
といった対応がなされています。

また、秋の市民展や作品展についても、  
「児童生徒は、一般参加と一緒に扱いに  
して、応募する子は学校に作品を提出  
するが、学校は審査せず、集まった作  
品を市に届けてもらうだけ。あとの審  
査と展示作業は市で行う」（江南市）  
「学校は児童生徒の作品を市に届けても  
らうだけ。会場の展示作業（立体以外）  
は市で行う」（犬山市）  
といった負担軽減の取り組みが今年度  
から始まります。さまざまな業務を見直  
す中、多忙化解消を進め、本来の業務に  
専念でき、勤務時間内に仕事が終えられ  
るようになりたいものです。

★ 市町教委と校長会への要請書の全文、  
「教員の多忙化解消プラン」（県教委）、尾  
北の各市町教委の多忙化解消計画は、尾北  
教労のホームページからご覧になれます。  
（「尾北教労」で検索）

職場で困ったことなども、ホームペー  
ジのメール等で相談ください。